



# はじめに

## BlueXP disaster recovery

NetApp  
April 02, 2024

# 目次

はじめに.....	1
VMware向けBlueXPディザスタリカバリの詳細.....	1
BlueXPディザスタリカバリの前提条件.....	5
BlueXPディザスタリカバリのクイックスタートガイド.....	6
BlueXPディザスタリカバリへのアクセス.....	6
BlueXPディザスタリカバリのセットアップ.....	8
BlueXPディザスタリカバリのライセンスを設定.....	9
BlueXPディザスタリカバリに関するFAQ.....	16

# はじめに

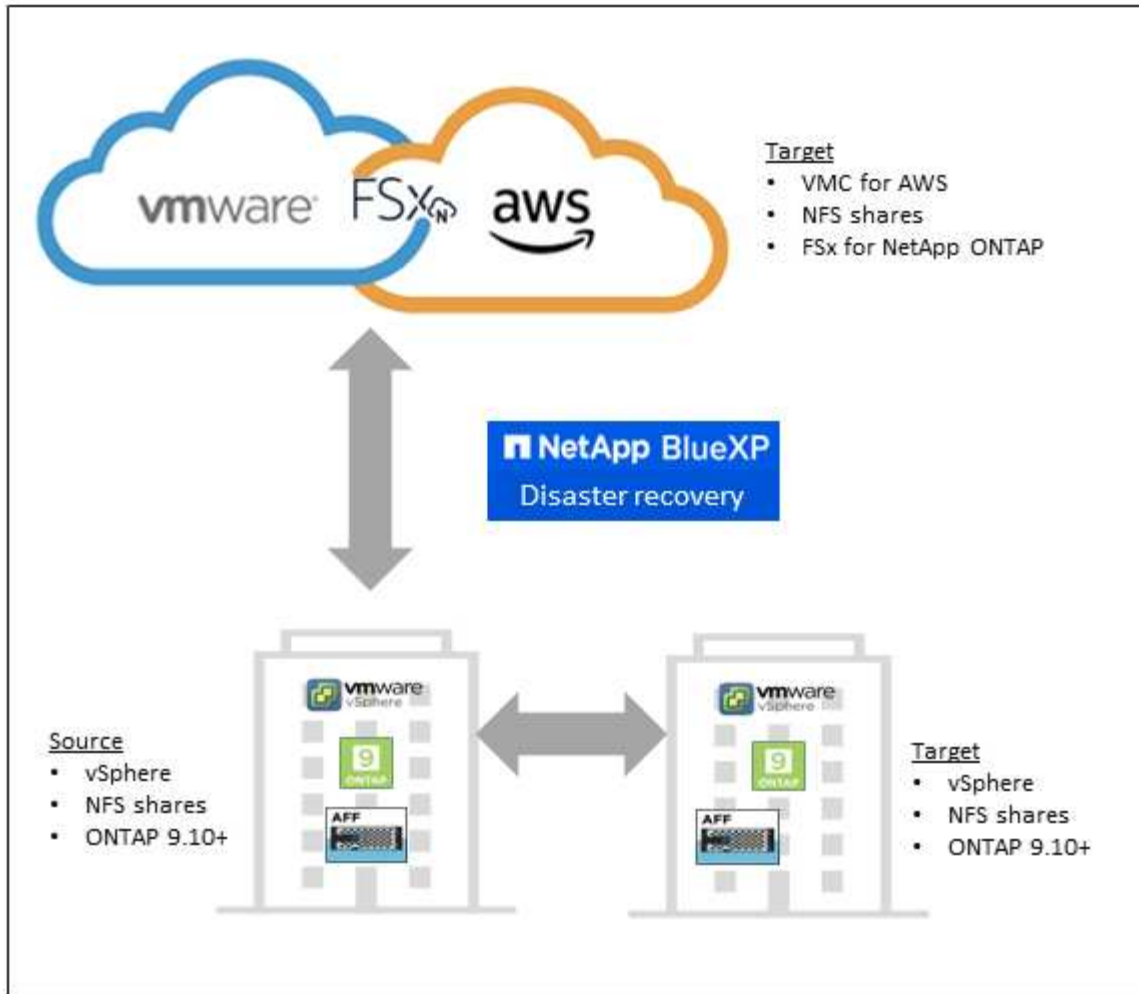
## VMware向けBlueXPディザスタリカバリの詳細

クラウドへのディザスタリカバリは、耐障害性に優れた対費用効果の高い方法で、サイトの停止やデータ破損からワークロードを保護します。VMware向けのBlueXPディザスタリカバリを使用すると、ONTAPストレージを実行するオンプレミスのVMwareワークロードを、NetAppクラウドストレージを使用してパブリッククラウドのVMware Software-Defined Data Centerにレプリケートしたり、ONTAPストレージを使用した別のオンプレミスのVMware環境をディザスタリカバリサイトとしてレプリケートしたりできます。

BlueXPのディザスタリカバリは、ディザスタリカバリのワークフローを自動化する、クラウドベースのディザスタリカバリサービスです。当初は、BlueXPディザスタリカバリサービスを使用することで、NetAppストレージを実行するオンプレミスのNFSベースのVMwareワークロードを次のいずれかに対して保護できます。

- AWS上のVMware Cloud (VMC) とAmazon FSx for NetApp ONTAPまたは
- ONTAPストレージを使用した、もう1つのオンプレミスNFSベースのVMware環境

BlueXPのディザスタリカバリでは、ディザスタリカバリサイトへのレプリケーション転送にONTAP SnapMirrorテクノロジーを使用します。これにより、プライマリサイトとセカンダリサイトで業界最高レベルのストレージ効率（圧縮と重複排除）を実現できます。



## VMwareにBlueXPディザスタリカバリを使用するメリット

BlueXPのディザスタリカバリには、次のようなメリットがあります。

- 複数のポイントインタイムリカバリ処理により、vCenterによるアプリケーションの検出とリカバリを簡易化
- 運用コストを削減し、最小限のリソースでディザスタリカバリ計画を作成および調整できるため、総所有コストを削減できます。
- 継続的なディザスタリカバリの準備：運用を中断せずに仮想フェイルオーバーテストを実施
- IT環境の動的な変化とディザスタリカバリ計画への対応力により、価値創出までの時間を短縮

## BlueXPのVMware向けディザスタリカバリの機能

BlueXPのディザスタリカバリでは、複数のNetAppテクノロジーをフルに活用して次の目標を達成できます。

- SnapMirrorレプリケーションを使用して、オンプレミスの本番用サイト上のVMwareアプリケーションをクラウドまたはオンプレミスのディザスタリカバリリモートサイトにレプリケートします。
- VMwareワークロードを元のサイトから別のサイトに移行します。
- 災害が発生した場合は、プライマリサイトをオンデマンドでディザスタリカバリサイトにフェイルオーバーします。このサイトには、VMware Cloud on AWSとFSx for NetApp ONTAP、またはONTAPを使用した

オンプレミスのVMware環境があります。

- 災害が解決されたら、ディザスタリカバリサイトからプライマリサイトにオンデマンドでフェイルバックします。



vSphereサーバの設定は、vSphere ServerのBlueXPディザスタリカバリの外部で行います。

## コスト

BlueXPディザスタリカバリの試用版を使用した場合、NetAppから料金が請求されることはありません。

BlueXPディザスタリカバリサービスのフルバージョンは、NetAppライセンスで使用できます。

## ライセンス

次のライセンスタイプを使用できます。

- 90日間の無償トライアルにサインアップしてください。
- お客様所有のライセンスを使用（BYOL）：NetApp営業担当から入手するNetAppライセンスファイル（NLF）です。ライセンスのシリアル番号を使用して、BlueXPデジタルウォレットでBYOLをアクティブ化できます。

すべてのBlueXPサービスのライセンスは、BlueXPデジタルウォレットサービスで管理されます。BYOLを設定すると、BlueXPのデジタルウォレットでサービスのアクティブなライセンスを確認できます。



BlueXPディザスタリカバリの料金は、レプリケーション計画のあるVMが1つ以上ある場合にソースサイトでプロビジョニングされたデータストアの容量に基づいて計算されます。フェイルオーバーされたデータストアの容量は、許容される容量に含まれません。BYOLの場合、データが許容される容量を超えた場合、追加の容量ライセンスを取得するか、BlueXPデジタルウォレットでライセンスをアップグレードするまで、サービスの処理が制限されます。

BlueXPディザスタリカバリ用のライセンスのセットアップの詳細については、[を参照してください。](#)  
"[BlueXPディザスタリカバリライセンスをセットアップ](#)".

## 90日間の無償トライアル

BlueXPのディザスタリカバリは、90日間の無償トライアルでお試しいただけます。

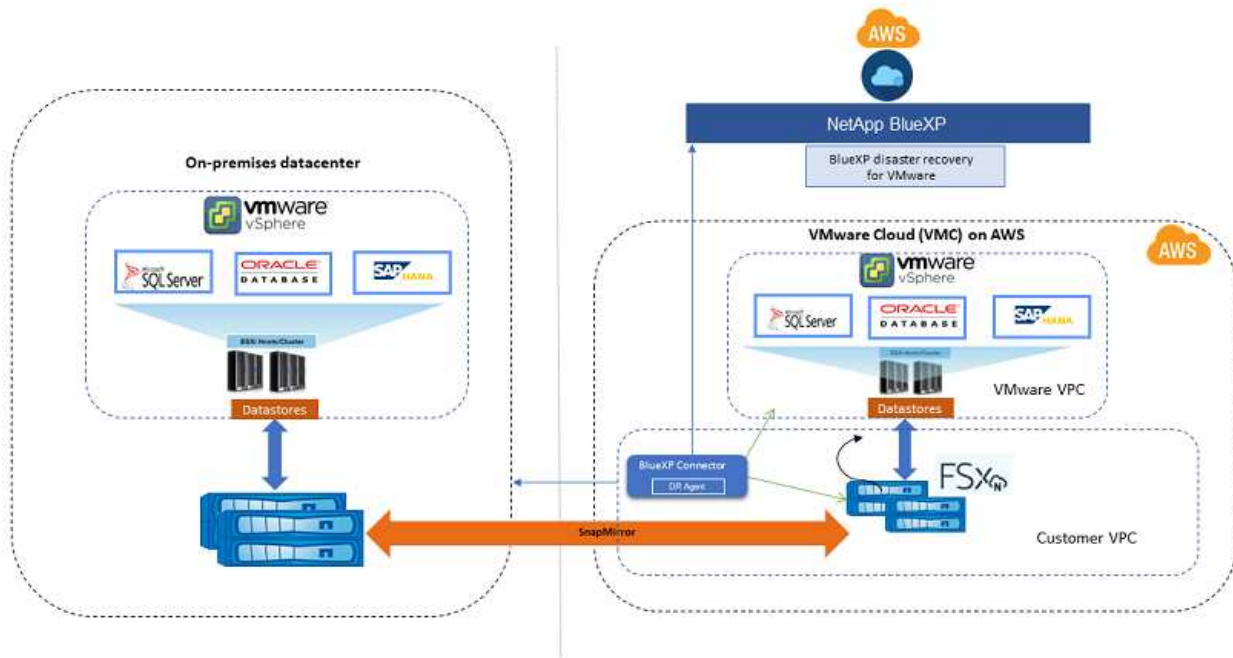
90日間の試用期間の終了後も継続するには、NetAppからBYOLライセンスを購入する必要があります。

ライセンスはいつでも購入でき、90日間の試用期間が終了するまで請求されることはありません。

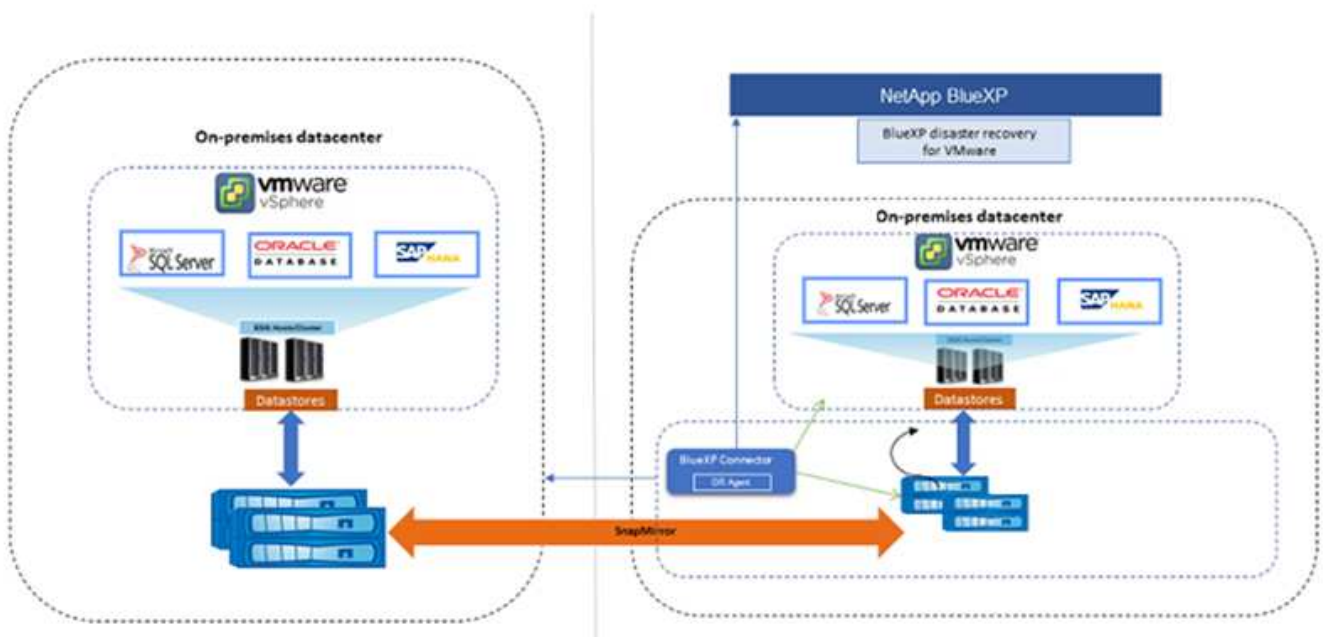
## BlueXPディザスタリカバリの仕組み

BlueXPのディザスタリカバリでは、オンプレミスサイトからAmazon FSx for ONTAP、または別のオンプレミスサイトにレプリケートされたワークロードをリカバリできます。SnapMirrorレベルからのリカバリ、仮想マシンのVirtual Machine Cloud（VMC）への登録、およびVMwareのネットワーク仮想化およびセキュリティプラットフォームであるNSX-T上のネットワークマッピングを自動化します。この機能は、すべてのVirtual Machine Cloud環境に含まれています。

BlueXPのディザスタリカバリには、ONTAP SnapMirrorテクノロジーが使用されています。このテクノロジーは、効率性に優れたレプリケーションを提供し、ONTAPの永久増分バックアップによるSnapshotの効率性を維持します。SnapMirrorレプリケーションにより、アプリケーションと整合性のあるSnapshotコピーが常に同期され、フェイルオーバー後すぐにデータを使用できるようになります。



次の図は、オンプレミスからオンプレミスへのディザスタリカバリ計画のアーキテクチャを示しています。



災害が発生した場合にこのサービスを使用すると、SnapMirror関係を解除してデスティネーションサイトをアクティブにすることで、他のオンプレミスのVMware環境またはVMCの仮想マシンをリカバリできます。

- このサービスでは、仮想マシンを元のソースの場所にフェイルバックすることもできます。
- 元の仮想マシンを中断することなく、ディザスタリカバリフェイルオーバープロセスをテストできます。このテストでは、ボリュームのFlexCloneを作成して、分離されたネットワークに仮想マシンをリカバリします。
- フェイルオーバーまたはテストフェイルオーバープロセスでは、仮想マシンのリカバリに使用する最新のスナップショット（デフォルト）または選択したスナップショットを選択できます。

## BlueXPディザスタリカバリの前提条件

まず、運用環境、ログイン、ネットワークアクセス、Webブラウザの準備状況を確認します。

BlueXPディザスタリカバリを使用するには、環境が次の要件を満たしている必要があります。

- オンプレミスのVMware作業環境とNetAppストレージ
- AWSの場合：
  - Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムAmazon FSx for ONTAPに関するドキュメント ["利用を開始するには"](#)。
  - AWS上のSoftware-Defined Data Center（SDDC）を所有するVMwareアカウント。仮想マシンクラウドとも呼ばれます。VMware Cloud Consoleで、管理者とNSXクラウド管理者のサービスロールを使用します。また、組織ロールに組織オーナーを使用します。を参照してください ["仮想マシンクラウドのドキュメント"](#)。
  - SDDCをAmazon FSx for NetApp ONTAPにリンクします。を参照してください ["VMware Cloud on AWSとAmazon FSx for NetApp ONTAPの統合"](#)。
- BlueXPの場合：
  - Amazon FSx for ONTAPとAWSのクレデンシャルがBlueXP作業環境に追加されました。
  - BlueXPコネクタはBlueXPでセットアップする必要があります。オンプレミスとクラウドコネクタは、ESXiを使用してオンプレミスとVMware Cloud（VMC）vCenterの両方に接続する必要があります。これにより、バックアップ、フェイルオーバー、フェイルバック、および移行の機能が、必要なネットワーク機能とスクリプト機能で適切に動作するようになります。

BlueXP Connectorには、ソースとターゲットの両方のvCenterサーバのクレデンシャルが必要です。を参照してください ["BlueXPクイックスタート"](#) および ["BlueXPのネットワーク情報"](#)。

- アプリケーション整合性プロセスを正常に実行するには、次の前提条件を満たしていることを確認します。
  - 保護対象のVMでVMwareツール（またはOpen VMツール）が実行されていることを確認します。
  - Windows VMでSQL、Oracle、またはその両方を実行している場合は、データベースのVSS Writerを有効にし、データベースを安定した状態にする必要があります。
  - Linuxオペレーティングシステムで実行されているOracleデータベースでは、OracleデータベースSYSDBAロールに対してオペレーティングシステムユーザ認証を有効にする必要があります。

# BlueXPディザスタリカバリのクイックスタートガイド

ここでは、BlueXPのディザスタリカバリを開始するために必要な手順の概要を示します。各ステップ内のリンクから、詳細が記載されたページに移動できます。

1

前提条件を確認する

"環境がこれらの要件を満たしていることを確認します"。

2

ディザスタリカバリサービスをセットアップする

"サービスをセットアップする手順を実行します"。

"ライセンスをセットアップする手順を実行"。

3

次の手順

サービスを設定した後、次に行うべきことは次のとおりです。

- "vCenterサイトを追加"。
- "ディザスタリカバリ計画の作成"。
- "アプリケーションを別のサイトにレプリケート"。
- "リモートサイトへのアプリケーションのフェイルオーバー"。
- "アプリケーションを元のソースサイトにフェイルバック"。
- "サイト、計画、データストア、仮想マシンの情報を管理する"。
- "ディザスタリカバリ処理の監視"。

## BlueXPディザスタリカバリへのアクセス

NetApp BlueXPを使用して、BlueXPディザスタリカバリサービスにログインします。

BlueXPにログインするには、NetApp Support Site のクレデンシャルを使用するか、Eメールとパスワードを使用してネットアップクラウドへのログインにサインアップします。"ログインの詳細については、こちらをご覧ください"。

手順

1. Webブラウザを開き、にアクセスします "BlueXPコンソール"。

NetApp BlueXPのログインページが表示されます。

2. BlueXPにログインします。
3. BlueXPの左側のナビゲーションで、**[保護]>[ディザスタリカバリ]\***を選択します。

このサービスに初めてログインする場合は、ランディングページが表示されます。



**Disaster recovery for your VMware workloads**

NetApp BlueXP disaster recovery lets you replicate your on-premises NFS-based VMware workloads running ONTAP storage to VMware Cloud as a disaster recovery site using NetApp cloud storage.

BlueXP disaster recovery uses ONTAP SnapMirror technology, which provides highly efficient replication and preserves the ONTAP incremental-forever Snapshot efficiencies. SnapMirror replication ensures that application-consistent Snapshot copies are always in sync and the data is usable immediately after a failover.

Get started with disaster recovery by deploying on-premises and cloud Connectors.

[Add a BlueXP Connector](#)

- Simplified management**  
Manage disaster recovery from one control plane
- Protect VMs with lower recovery point objective (RPO)**  
Protect VMs, data and apps with faster recovery operations
- Lower total cost of ownership (TCO)**  
Save time and resources and lower the total cost of ownership (TCO)

それ以外の場合は、BlueXPディザスタリカバリのダッシュボードが表示されます。

- BlueXPコネクタがない場合や、このサービス用のコネクタでない場合は、NetAppサポートに連絡するか、メッセージに従ってこのサービスにサインアップする必要があります。

コネクタを追加するには、を参照してください。 ["コネクタについて説明します"](#)。

- BlueXPを初めて使用し、コネクタを使用していない場合は、[ディザスタリカバリ]を選択すると、サインアップに関するメッセージが表示されます。フォームを送信してください。NetAppからリクエストに関する連絡があります。
- 既存のコネクタを使用しているBlueXPユーザは、[ディザスタリカバリ]を選択すると、サインアップに関するメッセージが表示されます。
- すでにサービスを使用している場合は、[ディザスタリカバリ]を選択すると続行できます。

Disaster recovery **Dashboard** Sites Replication plans Resource groups Job monitoring Free trial(0) days left - View details

**Sites (4)**  
Running: 4, Down: 0, Issue: 0  
[View sites](#)

**Replication plans (1)**  
Ready: 0, Failed: 1  
[View replication plan](#)

**3** Resource groups  
[View resource groups](#)

**4** Protected VMs  
[View protected VMs](#)

**73** Unprotected VMs  
[View unprotected VMs](#)

**0** Failovers  
**0** Failbacks  
**0** Test failovers  
**0** Migrations

**Activity**

- Initialize Compliance of RP\_test1\_new for Hourly schedule Compliance 4 s ago
- Initialize Compliance of RP2\_SNI for Hourly schedule Compliance 15 s ago
- Initialize Compliance of RP\_staging for Hourly schedule Compliance 1 m ago
- Initialize Compliance of RP\_test1\_new for Hourly schedule Compliance 1 m ago
- Initialize Compliance of RP\_test1\_new for Hourly schedule Compliance 1 m ago

[View all jobs](#)

# BlueXPディザスタリカバリのセットアップ

BlueXPディザスタリカバリを使用するには、いくつかの手順を実行してAmazon Web Services (AWS) とBlueXPの両方でセットアップします。



レビュー "前提条件" 環境の準備が整っていることを確認します。

## AWSをセットアップ

AWSでは、次の手順を実行する必要があります。

- VMware Cloud on AWSを導入して設定
- Amazon FSx for ONTAPファイルシステムを作成FSx for ONTAPをプロビジョニング、設定
- VMwareアカウントを使用し、Software-Defined Data Center (SDDC) をプロビジョニングSDDCがFSx for ONTAPに接続されていることを確認します。

### VMware Cloudの導入

"AWS 上の VMware Cloud" AWSエコシステム内のVMwareベースのワークロードにクラウドネイティブなエクスペリエンスを提供します。各VMware Software-Defined Data Center (SDDC) はAmazon Virtual Private Cloud (VPC) で実行され、フルVMwareスタック (vCenter Serverを含む)、NSX-Tソフトウェア定義ネットワーク、vSANソフトウェア定義ストレージ、1つ以上のESXiホストを提供し、ワークロードにコンピューティングリソースとストレージリソースを提供します。

AWSでVMC環境を設定するには、次の手順を実行します "[リンク](#)". パイロットライトクラスタは、ディザスタリカバリにも使用できます。

### Amazon FSx for NetApp ONTAPを設定

Amazon FSX for NetApp ONTAP はフルマネージドサービスで、広く普及しているNetApp ONTAP ファイルシステムを基盤に、信頼性、拡張性、パフォーマンス、機能豊富なファイルストレージを提供します。この手順を実行します "[リンク](#)" FSx for NetApp ONTAPのプロビジョニングと設定を行います。

## BlueXPディザスタリカバリのセットアップ

次のステップは、BlueXPでディザスタリカバリをセットアップすることです。

- BlueXPでコネクタを作成します。
- Amazon FSx for NetApp ONTAP向けSnapMirrorを導入、設定
- オンプレミスのONTAPストレージ作業環境をBlueXPに追加これはソースONTAPクラスタです。
- BlueXPアカウントを追加し、作業環境にFSxNを追加し、FSx for ONTAP用のAWSクレデンシャルを追加します。

### BlueXPでコネクタを作成します

このサービスをお試しいただくには、NetApp営業担当者にお問い合わせください。BlueXP Connectorを使用すると、ディザスタリカバリサービスに適した機能が含まれます。

サービスを使用する前にBlueXPでコネクタを作成する方法については、該当するBlueXPのドキュメントを参照してください ["コネクタの作成方法"](#)。

BlueXPオンプレミスコネクタまたはBlueXP AWSコネクタを使用します。BlueXP AWSコネクタは、ソースのオンプレミスvCenterとデスティネーションのオンプレミスvCenterにアクセスできます。

## Amazon FSx for NetApp ONTAP向けSnapMirrorの設定

次のステップは、BlueXPでディザスタリカバリをセットアップすることです。

1. BlueXPでアカウントを追加します。を参照してください ["アカウントの追加方法に関するBlueXPドキュメント"](#)。
2. 作業環境にAmazon FSx for NetApp ONTAPを追加します。ONTAPクラスタとのSnapMirror関係が確立されていて、FSx for NetApp ONTAPのデスティネーションが設定されていることを確認します。を参照してください ["FSx for ONTAP作業環境の設定方法"](#)。
3. BlueXPでは、SnapMirrorをFSx for NetApp ONTAPに導入します。
4. BlueXPでは、AWSインスタンス上でプロビジョニングされたFSx for NetApp ONTAPを検出し、指定したデータストアボリュームをオンプレミス環境からFSx for NetApp ONTAPにレプリケートし、適切な頻度でNetApp Snapshotコピーを保持します。

ライセンスをセットアップする

BlueXPディザスタリカバリでは、90日間の無償トライアルに登録できます。

NetAppライセンスファイル（NLF）である、お客様所有のライセンスを使用（BYOL）できます。

BlueXPディザスタリカバリ用のライセンスのセットアップの詳細については、を参照してください。 ["BlueXPディザスタリカバリライセンスをセットアップ"](#)。

## BlueXPディザスタリカバリのライセンスを設定

BlueXPディザスタリカバリでは、このサービスを無償トライアルで使用することも、お客様所有のライセンスを使用することもできます。

次のライセンスタイプを使用できます。

- 90日間の無償トライアルにサインアップしてください。
- お客様所有のライセンスを使用（BYOL）：NetApp営業担当から入手するNetAppライセンスファイル（NLF）です。ライセンスのシリアル番号を使用して、BlueXPデジタルウォレットでBYOLをアクティブ化できます。



BlueXPディザスタリカバリの料金は、レプリケーション計画のあるVMが1つ以上ある場合にソースサイトでプロビジョニングされたデータストアの容量に基づいて計算されます。フェイルオーバーされたデータストアの容量は、許容される容量に含まれません。BYOLの場合、データが許容される容量を超えた場合、追加の容量ライセンスを取得するか、BlueXPデジタルウォレットでライセンスをアップグレードするまで、サービスの処理が制限されます。

BYOLをセットアップすると、BlueXPデジタルウォレット\*[Data Service Licenses]タブでライセンスを確認できます。

無償トライアルが終了した後、またはライセンスの有効期限が切れた後も、サービスで次の操作を実行できません。

- ワークロードやレプリケーション計画などのリソースを表示します。
- ワークロードやレプリケーション計画などのリソースを削除します。
- 試用期間中またはライセンスの下で作成されたすべてのスケジュール済み操作を実行します。

## 90日間の無償トライアルでお試ください

BlueXPのディザスタリカバリは、90日間の無償トライアルでお試しいただけます。



試用期間中は容量制限は適用されません。

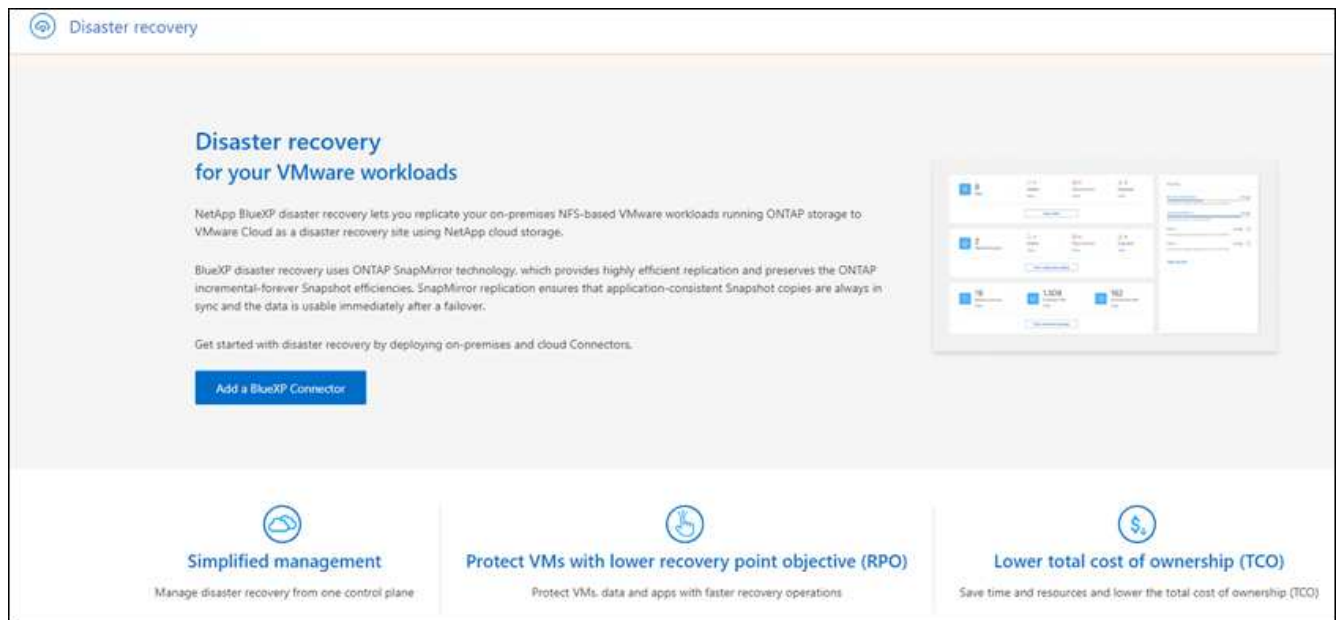
ライセンスはいつでも取得でき、90日間の試用期間が終了するまで請求されることはありません。90日間の試用期間の終了後も継続するには、BYOLライセンスを購入する必要があります。

試用期間中は、すべての機能を利用できます。

### 手順

1. にアクセスします ["BlueXPコンソール"](#)。
2. BlueXPにログインします。
3. BlueXPの左側のナビゲーションで、**[保護]>\***[ディザスタリカバリ]\*を選択します。

このサービスに初めてログインする場合は、ランディングページが表示されます。



4. 他のサービス用のコネクタをまだ追加していない場合は、コネクタを追加します。

コネクタを追加するには、[を参照してください](#)。 ["コネクタについて説明します"](#)。

5. コネクタのセットアップが完了すると、BlueXPディザスタリカバリランディングページで、コネクタを追加するボタンが無償トライアルを開始するためのボタンに変わります。 [\[Start free trial\]\\*](#)を選択します。

6. 無償トライアルの情報を確認し、\* Let's go \*を選択します。


試用期間が終了したら、**NetApp**から**BYOL**ライセンスを購入

試用版の終了後は、NetApp営業担当からライセンスを購入できます。


手順

1. ライセンスの購入については、NetApp営業担当者にお問い合わせください。
2. ライセンスを取得したら、BlueXPディザスタリカバリに戻ります。右上の\*支払い方法を表示\*オプションを選択します。または、無料トライアルの有効期限が近づいているというメッセージで、\*[ライセンスの登録または購入]\*を選択します。



### Payment methods

 Free trial active for the account, 89 days left.

To continue using BlueXP disaster recovery, subscribe through a provider or purchase a license from NetApp. Your functionality will be limited after the trial period ends without a subscription or license.


[Learn more](#) 

A subscription or license will be associated with the BlueXP account, **BlueXPDRAcc02**.

 NetApp License [NetApp support](#) 

Contact your NetApp sales representative to purchase a license or contact NetApp support. Then, add your license to BlueXP.

[Add license to BlueXP](#)

 Amazon Web Services Coming soon

Activate disaster recovery through the marketplace and pay at an hourly rate.

[Close](#)

3. [ライセンスをBlueXPに追加]\*を選択します。BlueXPのデジタルウォレットが表示されます。

Digital Wallet    Cloud Volumes ONTAP    **Data Services Licenses**    Subscriptions    Keystone    On-Premises ONTAP

---

License And Capacity Distribution

0
Total Licenses

Backup and recovery (0) !	0   0 TiB	Disaster recovery (0) !	0   0 TiB
Classification (0) !	0   0 TiB		
Tiering (0) !	0   0 TiB		

Service Licenses (0)
Add License

タブ"]

4. BlueXPデジタルウォレットで、[データサービスライセンス]\*タブで[ライセンスの追加]\*を選択します。
5. [Add License]ページで、シリアル番号とNetApp Support Siteアカウント情報を入力します。

## Add License

A license must be installed with an active subscription. The license enables you to use the Cloud Manager service for a certain period of time and for a maximum amount of space.

Enter Serial Number   
  Upload License File

---

Serial Number

12345

NetApp Support Site Account

▼

Add License
Cancel

ページ"]

6. 「\* ライセンスの追加 \*」を選択します。

無償トライアルを終了する

無料トライアルはいつでも停止することも、有効期限が切れるまで待つこともできます。

手順

1. BlueXPのディザスタリカバリで、右上の\*無償トライアル-詳細を表示\*を選択します。
2. ドロップダウンの詳細で\*[End free trial]\*を選択します。

### End free trial

Are you sure that you want to end your free trial on your account BlueXPDRAcc02? We will delete your data 60 days after you end your trial. If you subscribe or purchase a license within 60 days, we will retain your data. You may also delete your data immediately when you end your trial.

This action is not reversible.

Type "end trial" to end your free trial.

3. すべてのデータを削除する場合は、[試用期間終了時にすべてのデータを削除する]をオンにします。

これにより、すべてのスケジュール、レプリケーションプラン、リソースグループ、vCenter、およびサイトが削除されます。監査データ、処理ログ、およびジョブ履歴は、製品の寿命が終わるまで保持されません。



無償トライアルを終了してもデータの削除を求められず、ライセンスやサブスクリプションを購入していない場合、無償トライアルの終了から60日後にBlueXPディザスタリカバリによってすべてのデータが削除されます。

4. テキストボックスに「end trial」と入力します。
5. [終了]\*を選択します。

## お客様所有のライセンスを使用 (BYOL)

お客様所有のライセンスを使用 (BYOL) する場合は、ライセンスの購入、NetAppライセンスファイル (NLF) の取得、BlueXPデジタルウォレットへのライセンスの追加が含まれます。

## BlueXPディザスタリカバリライセンスを購入

BlueXPディザスタリカバリライセンスをお持ちでない場合は、ネットアップまでお問い合わせください。

1. 次のいずれかを実行します。

- ライセンスの購入については、NetApp営業担当までお問い合わせください。
- ライセンスをリクエストするには、BlueXPの右下にあるチャットアイコンをクリックします。

## BlueXPディザスタリカバリライセンスファイルの入手

NetApp営業担当からBlueXPディザスタリカバリライセンスを購入したら、BlueXPディザスタリカバリのシリアル番号とNetApp Support Site (NSS) アカウント情報を入力してライセンスをアクティブ化します。

作業を開始する前に

開始する前に、次の情報が必要です。

- BlueXPディザスタリカバリのシリアル番号

この番号は、SOから確認するか、アカウントチームにお問い合わせください。

- BlueXPアカウントID

BlueXPアカウントIDを確認するには、BlueXPの上部にある\*ドロップダウンを選択し、アカウントの横にある[アカウントの管理]を選択します。アカウント ID は、[概要] タブにあります。インターネットにアクセスできないプライベートモードのサイトでは、account-DARKSITE1\*を使用します。

## BlueXPのデジタルウォレットにBlueXPディザスタリカバリライセンスを追加

BlueXPアカウント用のBlueXPディザスタリカバリライセンスを購入したら、BlueXPのデジタルウォレットにライセンスを追加する必要があります。

手順

1. BlueXPのメニューで、\* Governance > Digital Wallet > Data Services Licenses \*を選択します。

The screenshot shows the 'Digital Wallet' interface with the 'Data Services Licenses' tab selected. The main content area is titled 'License And Capacity Distribution'. On the left, a circular gauge displays '0 Total Licenses'. To the right, there are four rows of license categories, each with a progress bar and '0 | 0 TiB' capacity:

License Category	Count	Capacity
Backup and recovery	0	0   0 TiB
Disaster recovery	0	0   0 TiB
Classification	0	0   0 TiB
Tiering	0	0   0 TiB

At the bottom left, it says 'Service Licenses (0)' and at the bottom right, there is a blue 'Add License' button.



タブ"]

2. 「\* ライセンスの追加 \*」を選択します。

### Add License

A license must be installed with an active subscription. The license enables you to use the Cloud Manager service for a certain period of time and for a maximum amount of space.

Enter Serial Number     Upload License File

---

Serial Number

NetApp Support Site Account

ページ"]

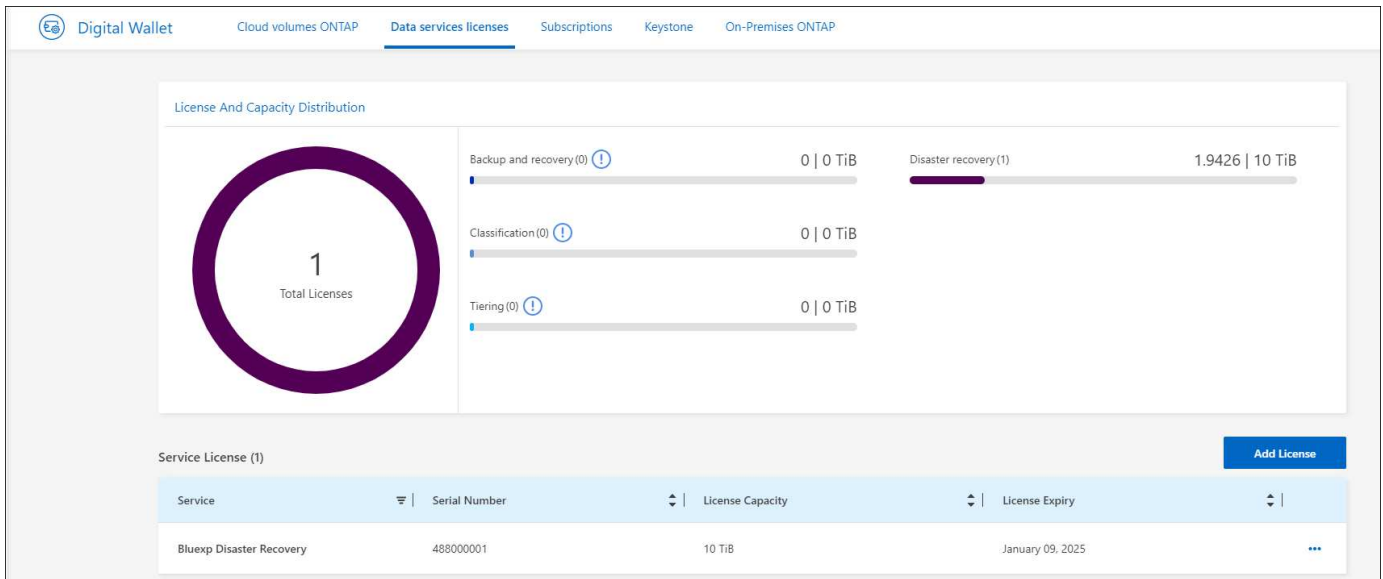
3. [Add License]ページで、ライセンス情報を入力し、\*[Add License]\*を選択します。
  - BlueXPライセンスのシリアル番号があり、NSSアカウントがわかっている場合は、\*[シリアル番号の入力]\*オプションを選択してその情報を入力します。

お使いのNetApp Support Siteのアカウントがドロップダウンリストにない場合は、"[NSSアカウントをBlueXPに追加します](#)"。

  - BlueXPライセンスファイル（ダークサイトにインストールされている場合に必要）がある場合は、\*[ライセンスファイルのアップロード]\*オプションを選択し、プロンプトに従ってファイルを添付します。

結果

BlueXPデジタルウォレットに、ライセンスがあればディザスタリカバリが表示されるようになりました。



## 有効期限が切れたときにBlueXPライセンスを更新する

ライセンス期間が有効期限に近づいている場合や、ライセンス容量が上限に近づいている場合は、BlueXPのディザスタリカバリUIに通知されます。有効期限が切れる前にBlueXPディザスタリカバリライセンスを更新することで、スキャンしたデータへのアクセスが中断されることがありません。



このメッセージは、BlueXPのデジタルウォレットと "通知"。

### 手順

1. BlueXPの右下にあるチャットアイコンを選択して、特定のシリアル番号について契約期間の延長やライセンスの容量の追加をリクエストします。また、電子メールを送信して、ライセンスの更新をリクエストすることもできます。

ライセンスの料金を支払ってNetApp Support Site に登録すると、BlueXPデジタルウォレット内のライセンスが自動的に更新され、[Data Services Licenses]ページに5~10分後に変更が反映されます。

2. BlueXPがライセンスを自動的に更新できない場合(たとえば、ダークサイトにインストールされている場合)、ライセンスファイルを手動でアップロードする必要があります。
  - a. ライセンスファイルはNetApp Support Siteから取得できます。
  - b. BlueXPのデジタルウォレットにアクセスします。
  - c. タブを選択し、更新するサービスシリアル番号の[アクション...]アイコンを選択して、[ライセンスの更新]\*を選択します。

## BlueXPディザスタリカバリに関するFAQ

このFAQは、質問に対する簡単な回答を探している場合に役立ちます。

- BlueXPのディザスタリカバリURLとは？\*  
URLの場合は、ブラウザで次のように入力します。 "<https://console.bluexp.netapp.com/>" をクリックしてBlueXPコンソールにアクセスします。
- BlueXPディザスタリカバリを使用するにはライセンスが必要ですか？\*

すべての機能にアクセスするには、BlueXPディザスタリカバリライセンスが必要です。ただし、無料トライアルで試すことができます。

BlueXPディザスタリカバリ用のライセンスのセットアップの詳細については、[を参照してください。](#)  
"[BlueXPディザスタリカバリライセンスをセットアップ](#)"。

- BlueXPを使用するには、どうすればよいですか？\*  
BlueXPのディザスタリカバリを有効にする必要はありません。ディザスタリカバリオプションは、BlueXPの左側のナビゲーションに自動的に表示されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。